

★ 政策シンポジウム 「北海道の自主独立—自治分権とは何か。その本質を考える」

日 時 2009年5月23日(土) 10時～16時45分(9時30分開場)  
 場 所 札幌市教育文化会館 札幌市中央区北1条西13丁目(地下鉄東西線「西11丁目」駅下車)  
 参加費 ① シンポジウム・・・会員は無料(要申込・参加券持参)  
 一般 1,000円・学生 500円(いずれも要申込)  
 ② 参加者交流会・・・3,000円(立食形式・17時30分～19時)

プログラム

総 会 10:00～10:45

シンポジウム 11:00～16:45

◆基調鼎談 11:00～12:30 「(仮題)提言:北海道自主・独立への道」

石井 吉春さん(北海道大学公共政策大学院教授)  
 神原 勝さん(北海学園大学教授)  
 佐藤 克廣さん(北海学園大学教授)

◆昼休み 12:30～13:30

◆分科会 13:30～15:30

分科会1

「食と農」を核とした地域の自立の取り組み

北海道は、カロリーベースの食料自給率は約200%と、国内最大の食料基地であり、基幹産業である農林水産業は、他県と比べ圧倒的優位に立っています。こうした中で、農業者や行政、商工業者のほか幅広く市民が連携し、「食と農」を核とした地域の自立の取り組みが道内各地で展開されており、この分科会では3つの先進事例を基に、地域の自立方策を考えます。

◆パネリスト

佐久間 良博さん(江別麦の会)  
 山科 隆男さん(長沼町グリーン・ツーリズム運営協議会)  
 成田 潤一さん(オホーツク北見塩やきそば推進協議会)

◆コメンテーター

松本 懿さん(酪農学園大学環境システム学部教授)

◆コーディネーター

米一 彰夫(運営委員・恵庭市職員)

分科会2

自立に向けた自治体財政のあり方

地方分権を進め、社会の豊かさを実感するためには、「小さな自治」「身近な自治」の確保と自治のビジョンが必要です。どんなに財政力が小さくとも自治を続けていくためには、どのような手法が考えられるのか、苦しい自治体財政の建て直しと自治システムのあり方から自立に向けた道を探ります。

◆パネリスト

小林 生吉さん(中頓別町職員)  
 嶋田 浩彦さん(南幌町職員)  
 松井 健さん(中川町職員)

◆コーディネーター

佐藤 克廣(代表運営委員・北海学園大学教授)

分科会3

研究・政策スタジアム

若手研究者などが地方自治に関する研究成果や提言を発表し、来場者と意見交換する場です。自治の研究と実践の場をつなぎ、意見や発想を触発しあうことを期待しています。

◆発表者

青山 剛さん(室蘭市議会議員)  
 「水道事業の広域化について(仮)」  
 酒井 智美さん(札幌市職員)  
 「転機に立つ公立文化ホールの課題  
 —道内都市の施設を素材として—」

高見 芳彦さん(道職員・北海道公共政策大学院修了)  
 「地域主権型社会における協働(仮)」

◆コーディネーター

山崎 幹根(運営委員・北海道大学公共政策大学院教授)

◆分科会報告 15:45～16:45

申込方法

下記の①～⑦を記入し、FAXかEメール、あるいは官製ハガキでお申し込み下さい。

①氏名②住所③連絡先電話番号④会員・非会員の別⑤希望する分科会番号⑥交流会への出席の有無⑦総会出席の有無(会員の場合)

申込先

【FAX】 011-281-8807 【Eメール】 jichigakhok@yahoo.co.jp

【ハガキ】 北海道自治体学会事務局 〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目 札幌ビル8F 北海道NP0サポートセンター内  
 ※北海道自治体学会HP[http://i-cis.com.jichi]からも、お申し込みいただけます。

申込期限

2009年5月15日(金)必着

問い合わせ先

電話 080-1878-1564(平日9時～5時)又はjichigakhok@yahoo.co.jp

※内容の一部が変更される可能性がありますのでご了承ください。